



4/23 豊かな自然を未来へ引き継ぐために

標茶町森と川の月間連絡協議会（千葉誠治会長）が開催され、平成30年度の事業報告と平成31年度の事業計画が承認されました。本町では毎年5月を「森と川の月間」として、5月11日の「第19回町内クリーン作戦」を皮切りに、自然保護と環境美化のための清掃活動や植樹活動、講演会などが行われます。



4/3 町内会・地域会の連携を深めるために

標茶町自治会連合会総会が開催されました。今年度は「地域の絆と安心・安全なまちづくり」を推進目標に掲げ、研修会の開催や社会を明るくする運動などに取り組むことを確認しました。



4/23 本を読む幸せを子どもたちに

ブックスタート事業が始動しました。この事業では絵本を介して親子のふれあいを応援することを目的に、7カ月健診を受診した子どもへ絵本が贈られます。子どもたちは並べられた絵本に興味津々の様子でした。



4/5 児童の登校を見守りました

町と弟子屈警察署（林隆俊署長）は、新学期の始まりに合わせて標茶小学校正門前で街頭啓発を行い、交通安全を呼び掛けました。また、同警察署と「防災、安全・安心地域活動キャラ協定」を結んでいるミルクックさんもハッピーくるべえと一緒に街頭啓発に参加し、旗を振りました。



4/26 北海道集治監釧路分監本館 オープン

平成29年8月より閉館していた旧郷土館が、耐震改修工事を終え、北海道集治監釧路分監本館として開館しました。開館を記念して行われた式典では町関係者や町議会議員、地域住民ら約70人が参加し開館を祝福しました。



4/22 観光協定を結びました

町は日本自動車連盟（JAF）釧路支部と観光協定を結びました。この協定は本町の観光振興を通して相互に発展を目指すことを目的に締結されました。今後、JAF機関紙や同ホームページにて本町の観光情報が紹介されます。



5/9 中茶安別小中学校が内閣総理大臣表彰を受賞

中茶安別小中学校が、平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、富田和幸校長がその報告に役場を訪れました。中茶安別小中学校は昭和6年からカラマツなどの植樹活動を継続的に行っており、平成23年に学校林活動の拠点としてツリーハウスを建造しました。また、このような地域活動のみならず、交流事業など、積極的に外部との交流活動も行っています。富田校長は「今回の受賞を励みに子どもたちとこれから頑張っていきたい」と話しました。

ありがとうございます

5/7



明治安田生命釧路支社（落合一美支社長、釧路市）が町にごみ袋60枚を寄贈してくださいました。寄贈されたごみ袋は「森と川の月間」事業をはじめとする町内の清掃活動に活用されます。

4/9



標茶町高齢者事業団（菊池功明理事長）が、図書館へ本25冊を寄贈してくださいました。いただいた本は図書館で貸し出ししています。

5/9



住友建設（住友悟代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、麻生児童公園グラウンドの整地をしてくださいました。

4/16



桜祐二歌謡学園グループ標茶支部（江口サチ子支部長）と同学園を主催する桜祐二代表は役場を訪れ、4月14日に開催した第19回「夢21しべちゃ歌謡祭」の収益金の一部を町に寄附してくださいました。

5/9



開成建設工業（小澤由明代表取締役、弟子屈町）の皆さんが地域貢献活動として、磯分内小学校グラウンドの整地をしてくださいました。

4/26



明盛建設（旧北雄組、尾崎幸晴代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、町道ルルラン通りのごみ拾いをしてくださいました。